

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20965	
事業名	市営住宅建設費						
評価担当課	所属名	都)市街地整備 住宅課					
	課長名	松本 文史	担当者名	遠藤 拓也	電話番号	011-211-2807	
施策名	主	都市基盤の維持・保全と防災力の強化					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	建物の安全性確保や居住性の向上を目指し、市営住宅の更新時期等を踏まえて、調査・設計及び施設整備等を行う。				
		長期	住宅に困窮する市民の居住の安定性確保や、老朽化した市営住宅の居住性能の向上を図る。				
	取組内容	市営住宅の更新時期等を踏まえ、建替事業を実施する。 ①月寒団地F5・6号棟建替工事 ②発寒団地4号棟建替工事 ③伏古団地5・6・7号棟建替工事 ④二十四軒団地1号棟建替工事、旧1・2号棟解体工事 ⑤その他：消火器購入・検査立会、水道手数料、測量、支障物件移設、移転補償等					
実施結果	<工事>(しゅん功):①月寒団地F5・6号棟建替工事 ②伏古団地A5・6・7号棟建替工事 ③二十四軒団地1号棟建替工事、(継続工事):①発寒団地4号棟建替工事 ②二十四軒団地旧1・2号棟解体工事 等 <設計等>①月寒団地F5・6号棟建替工事監理 ②伏古団地A5・6・7号棟建替工事監理 ③二十四軒団地1号棟建替工事・2号棟建替工事実施設計 ④発寒団地4号棟建替工事監理 ⑤二十四軒団地旧1・2号棟解体工事監理 等						
事業実施における工夫点	事業の実施にあたっては、事前に自治会及び入居者に対して計画内容の説明を行い、周知を図るとともに、意見の把握に努めている。						
対象者	市営住宅入居者、市営住宅入居希望者			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	公営住宅法、社会資本整備総合交付金交付要綱						
他都市の状況	各都市においても、公営住宅等長寿命化計画を策定し、計画的に建替事業を推進している。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	2,375,676	4,756,000	4,618,724	1,495,000
うち特定財源	2,311,109	4,613,935	4,540,506	1,333,600
人工	8.0	8.0	8.0	8.0
人件費	57,600	57,600	57,600	57,600
計(事業費+人件費)	2,433,276	4,813,600	4,676,324	1,552,600
事業費の内訳	令和3年度決算	・工事関連委託料(伏古団地5・6・7号棟工事監理等):239,629千円 ・工事請負費(伏古団地5・6・7号棟工事等):4,328,931千円 ・移転補償費:29,002千円 ・その他:21,162千円		
	令和4年度予算	・工事関連委託料(発寒団地4号棟工事監理等):165,561千円 ・工事請負費(発寒団地4号棟工事等):1,241,418千円 ・移転補償費:55,411千円 ・その他:32,610千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	設計対象団地数(市営住宅の基本・実施・解体設計等)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	1件	5件	5件	2件	
活動指標2	指標名	工事対象団地数(市営住宅の解体工事等)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	3件	0件	0件	2件	
成果指標1	指標名	市営住宅の整備事業のため、成果指標の設定がなされない。			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	なし	なし	なし	なし	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	建設着手やしゅん功の時期等を踏まえて、調査や設計、施設整備等を実施することができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	各建替基本計画において事業規模を検証しているため、妥当な事業規模である。また、国費補助要件を満たす仕様とすることで、最大限に国費を活用していることから、妥当である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	効率的かつ円滑に市営住宅の整備を進めるため、基本設計や実施設計において、課題等の検討・整理を行うとともに、入居者等に対する説明を行っており、適切な事業手法である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	市営住宅の建設着手やしゅん功時期等を踏まえて、調査や設計、施設整備等を実施することによって、住宅に困窮する市民に対して居住の安定性を確保するとともに、老朽化した市営住宅の居住性能の向上を図ることができた。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	今後も建替えの対象となる建築年次の古い建物が多数あることから、厳しい財政状況を勘案して引き続き計画的に建替事業を進めていく必要がある。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	市営住宅の整備スケジュール等を十分に踏まえて、当該年度に必要な調査や設計、施設整備等を慎重に検討・選定している。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	市営住宅の建設着手やしゅん功時期等を踏まえて、調査や設計、施設整備等を慎重に検討・選定している。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 市営住宅の整備スケジュール等を十分に踏まえて、当該年度に必要な調査や設計、施設整備等を慎重に検討・選定する。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 事業執行に必要な事業費を計上する。		見直し効果額	0 千円